

元気っ子しゅうごう

問 秘書課広報統計係
☎ 95-9867



右：^{とうま}鈴木 遙真ちゃん
2022年1月9日生まれ
左：^{ふうた}颯太ちゃん
2023年9月15日生まれ

弟が生まれてからさらにパワフルになった子どもたち。毎日大変だけれど、かわいい笑顔でとても楽しそうに遊んでいる姿がママとパパの幸せです。いつもありがとう！（長田町）



右：^{みなと}池田 湊ちゃん
2017年8月14日生まれ
左：^{すい}翠ちゃん
2023年1月11日生まれ

なんだかんだ仲良しなみなと&すいちゃん♡これからも家族で楽しい思い出たくさんつくろうね！二人とも大好きだよ！（山神町）

すいすい水族館

サメの卵の話

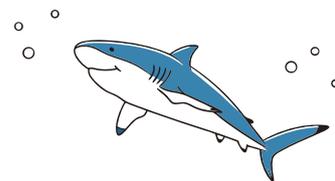
問 海浜水族館 ☎48-3761

皆さんはサメの卵を見たことがありますか？サメは種類によって繁殖形態が違い、お腹の中で卵がふ化して赤ちゃんの状態生まれてくる種もいれば、水中に卵を産む種もいます。

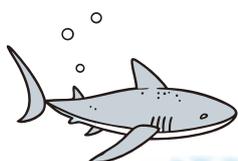
サメの卵にはいろいろな形があり、ネコザメの卵はまるでドリルのような形をしています。一方、トラザメやナヌカザメの卵は平たい形で、ひものようなものがついています。殻の中で丸い卵黄が金貨のように透けて見えることから「人魚の財布」とも呼ばれています。とてもロマンチックなネーミングですね。

では、これらの卵はどうしてこのような変わった形をしているのでしょうか？正解は、「卵が潮に流されないようにするため」です。ドリル型の卵は岩の隙間に押し込んで産みつけられることで、ひものがついた卵は海藻などにひもを絡めて産みつけられることで固定されているのです。種によって卵の形が違うのは、生息する環境に合わせて進化していった結果なのかもしれませんね。

碧南海浜水族館の「冷たい海」コーナーでは、トラザメの成体と卵を常時展示しています。卵の中の赤ちゃんが少しずつ育っていく様子が見れますので、ぜひじっくりと観察してみてください。



◁トラザメと卵



ネコザメと卵▷

